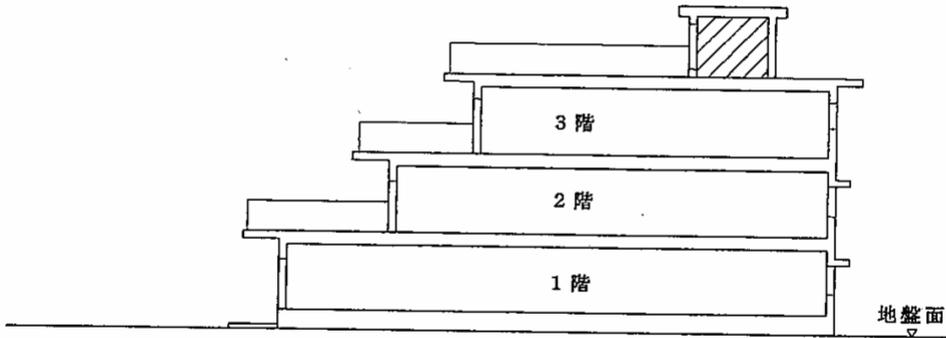


建築協定の補足説明

1) 第7条(3)「階数は3以下」とは

図ア

部分が物見塔、階段室等に供するもので、かつその部分の床面積が建築面積の1/8以下の時には、この部分は階数に算入されない。



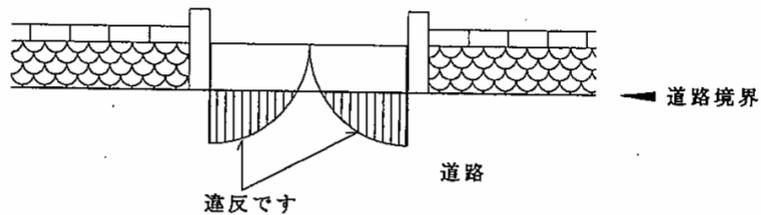
〔断面図〕

注) 部分に居室をとると床面積の大小に関係なく4階となり協定不適合となります。

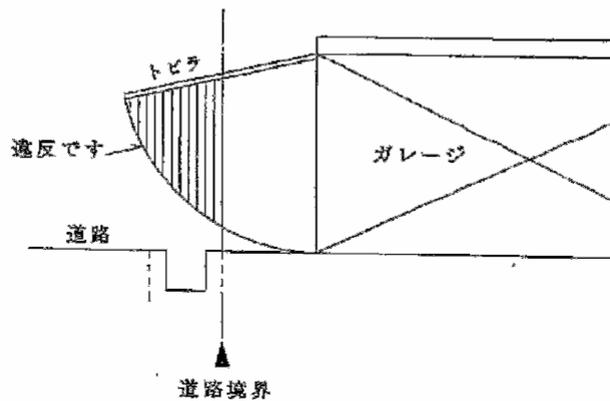
2) 第7条(4)「門扉は原則として……」とは

図イ

例1 〔平面図〕



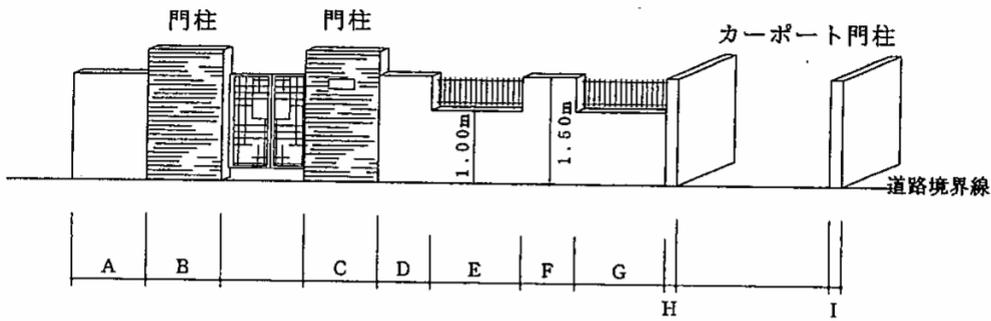
例2 〔側面図〕



3) 第7条(5)「道路境界線に設ける……」とは

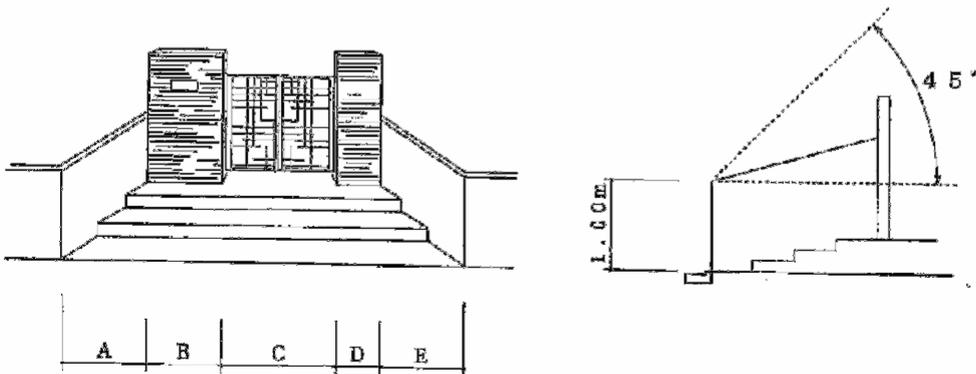
図ウ

① 道路に面した囲障



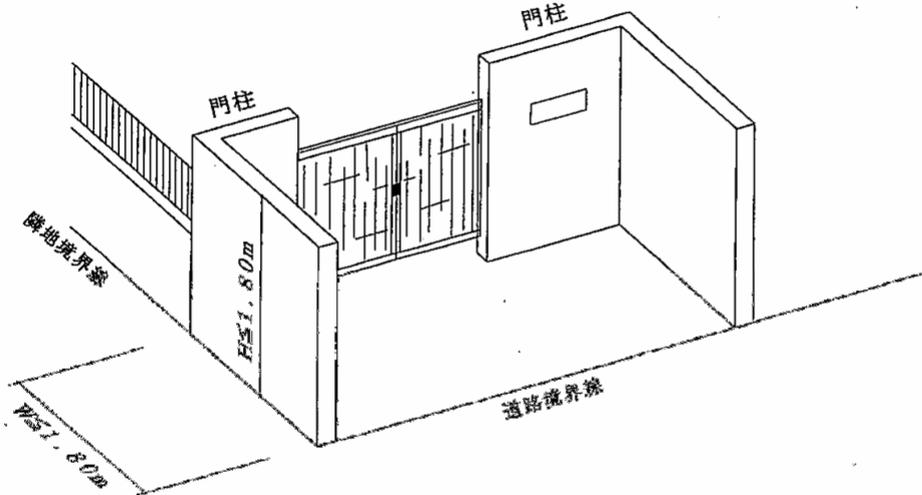
承諾出来る条件 $A+B+C+D+F+H+I \leq 4.0\text{m}$
 門柱幅 $B+C \leq 1.8\text{m}$
 門柱の高さ $\leq 1.8\text{m}$

② 道路面より後退した囲障



承諾出来る条件 道路境界線より50cm以上後退した門柱は幅の制限無し。
 A, Eの囲障が道路境界線上、高さ1mより45°の角度内の高さであれば延べ長さ4メートルの対象外とする。

③ 隣地に面した門柱



承諾出来る条件 隣地境界に面する門柱（カーポート用門柱を含む）の幅が1.80m以下であれば設置することが出来る。

4) 第7条(6)「隣地境界線に設ける・・・」とは

図エ

